

## 国際金融都市 OSAKA 実現に向けた要望

世界の金融情勢が大きく変化し、税制改正など、国際金融都市の実現に向けた国の動きが本格化する中で、我が国の成長力を高めていくためには、国際競争力を有する複数の金融都市が必要である。

大阪を国際金融都市とすることは、危機事象発生時における金融面での日本のレジリエンスを強化し、東京一極集中を是正する重要な取組みでもある。

さらに、「経済の血液」とも言われる金融機能の強化を図ることは、ポストコロナに向けた大阪経済の再生を図るための新たな成長の柱となるだけでなく、日本の経済発展にも資するものとなる。

こうしたことから、国の動きと軌を一にし、東西二極の一極として独自の個性・機能を持つ国際金融都市を形成し、大阪のさらなる飛躍につなげていきたい。

大阪は、歴史的に「先物取引発祥の地」として、世界で広く知られており、2つの取引所を有している。

大阪の強みであるライフサイエンス産業におけるうめきた2期、未来医療国際拠点の整備などを進める中、国家プロジェクトである2025年万博を契機に、世界に向けて大阪の都市の魅力を発信していく。

これらの強み・機会を活かし、大胆な規制緩和による革新的な金融都市の実現や、デリバティブ等魅力ある商品を提供するなど、エッジの効いた取組みを推進し、世界中から大阪に投資を呼び込み、ビジネスチャンスを生み出すことで、金融をテコに発展する都市をめざしていく。

こうした考えのもと、2021年3月に、大阪府、大阪市、経済界、金融機関をはじめとする民間事業者等、官民の総力を結集して国際金融都市を実現するため、「国際金融都市 OSAKA 推進委員会」（会長：松本正義関西経済連合会会長）を設立したところ。

今後、精力的に活動し、中長期の取組みを着実に推進するため、「条件整備に向けた国への働きかけ」、「大阪府・大阪市における条件整備」、「民間による魅力ある市場創出」などを盛り込んだ戦略を、2021年度末に策定することとしている。

については、大阪における国際金融都市実現に向け、民間事業者等の事業環境整備に向けたさらなる税制措置・規制緩和や、国内外の金融人材や資金等を集積させる取組みに対する財政支援等について、格別のご支援をお願いしたい。

令和3年7月  
大阪府  
大阪市